

# 令和6年度学校自己評価システムシート (県立ふじみ野高等学校)

w 1 4

目指す学校像	これからの時代をたくましく生きる知・徳・体を育むとともに、仲間とともに学習にスポーツ・文化活動に全力でチャレンジし、地域に元気・感動・夢を発信する学校
--------	-----------------------------------------------------------------------------

重点目標	1 ICTの効果的な活用による授業改善を通して主体的に学習に取り組む態度や探究心を育成し、進路実現に繋げる。 2 自律的規範意識と他者を尊重する精神の涵養を通して豊かな心と健やかな体の育成を図る。 3 家庭、地域及び大学等の連携を充実させ、社会に開かれた教育課程の実現を図る。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )			実 施 日 令 和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<b>【現状】</b> ・家庭学習にICT端末やアプリを活用している生徒が半数以下に止まっている。 ・進路実現に向けて生徒一人ひとりの希望に応じた進路指導を体系的に実施している。 <b>【課題】</b> ・主体的に学習に取り組む態度と探究心の育成が課題である。 ・ICT端末を活用した授業実践及び探究的な学びに向けた調査研究を進めていく必要がある。	①ICTを効果的に活用した授業実践を進めていく ②生徒一人ひとりの在り方生き方と関連付けた学びを推進する	①各教科でICTの効果的な利活用に向けて研究し、授業公開等を実施していく。 ①教務部及びICT委員会を中心に先進校視察等を通じて調査研究を進める。 ②進路指導部及び教務部が中心となり、探究的な学びにより進路実現を図っていく。 ②ガイダンス機能の更なる充実を図りながらキャリア教育を推進する	①授業公開及び研究協議等の実施状況。 ①先進校視察及び調査研究の実施状況。 ①主体的、対話的で深い学びを実感できた生徒の割合。 ②進路実現と探究的な学びを関連付けられた生徒の割合。 ②進路指導に対する生徒の満足度の状況。				
2	<b>【現状】</b> ・生徒指導部、各学年及び各部活動等が連携して基本的生活習慣の確立が図られている。 ・「地域に元気・感動・夢を発信する学校」として諸活動を展開している。 <b>【課題】</b> ・交通事故ゼロに向けて交通安全指導を粘り強く継続していく必要がある。 ・内外から応援される部活動、生徒会活動であるために、より一層活動の充実を図っていくことが課題である。	①高い規範意識を持ち自他を尊重する社会性を育成する ②生徒それぞれの多様な状況に対応できる組織的な支援体制を強化する	①生徒指導部(生活係・生徒会係)を中心に、安心安全な学校生活や充実した学校行事に向けて指導支援を行う。 ①学級、各種委員会、部活動学校行事等を通じて生徒が活躍する場面を創出する。 ②各学年及び校内委員会を中心に情報共有の徹底を図る。 ②SC、SSW及び児童福祉担当機関と連携して多様な生徒の状況に丁寧に対応する。	①事故・苦情・指導対象者の状況。 ①学校行事の満足度の状況。 ①各種活動に主体的に取り組めた生徒の割合。 ②校内の情報共有の在り方に係る状況。 ②SC、SSW及び外部機関との連携の状況。				
3	<b>【現状】</b> ・学校評議員会及び学校評価懇話会、生徒及び保護者アンケート等によるフィードバックを得ながら教育活動の改善に努めている。 ・大学や関係機関との連携、地域との交流に取り組んでいる。 <b>【課題】</b> ・大学及び地域関係機関との連携強化を図りながら、探究的な学びを深めていくことが課題である。	①大学及び地元機関等との連携協働を進める ②各種広報媒体を活用して本校の教育活動を積極的に発信する	①高大連携プログラムを円滑に実施する。 ①地域との交流活動等に積極的に参加する。 ①学校評議員会や生徒及び保護者のフィードバックを教育活動の改善に繋げる。 ②HP、PTA広報誌及び地元自治体の広報誌等を活用する。 ②生徒募集活動の工夫改善を進めていく。	①高大連携プログラムの実施状況。 ①地域との交流活動への参加状況。 ①フィードバックを生かした教育活動の改善状況。 ②HPの更新状況。 ②生徒募集活動の実施状況及び志願状況。				